

堀切菖蒲園駅周辺地区のまちづくりに向けた第1回アンケート調査 集 計 結 果

令和7年7月25日から令和7年8月15日までの期間で、堀切菖蒲園駅周辺地区に土地や建物などの権利をお持ちの方を対象に、堀切菖蒲園駅周辺地区のまちづくりに向けた第1回アンケート調査を実施しました。第1回アンケート調査の概要と集計結果は以下のとおりです。

<第1回アンケート調査の概要>

調 査 名：堀切菖蒲園駅周辺地区のまちづくりに向けた第1回アンケート調査

調査対象：堀切菖蒲園駅周辺地区に土地や建物などの権利をお持ちの方

調査期間：令和7年7月25日（金）～8月15日（金）

調査方法：郵送回収及び、Webによる回収

配 布 数：535部

回 収 数：郵送73部、Web27部、合計100部（回収率18.7%）

主な設問：●検討会で出た9つの取組について、どのように思うか

●上記の取組を行う場所は、提案のエリアで良いか

検討会で意見があった9つの取組

- ① 安全に避難でき、緊急車両が通れる道路幅員（4m以上）を確保↵
- ② 建替えルールや費用の支援による燃えにくい建物への建替え促進↵
- ③ 駅周辺の吸い殻の掃除など、まちの美化の推進↵
- ④ 商店街や事業者など、多くの方の参画によるまちづくりの検討↵
- ⑤ 歩行者中心で、人々の憩いの空間がある道路↵
- ⑥ 駅周辺での地域活動やイベント等に活用できる広場の設置↵
- ⑦ 買い物空間の充実↵
- ⑧ 壁面後退による店先空間の創出↵
- ⑨ 沿道の建物の高さや壁面の位置をそろえ、調和のとれた街並みを形成↵

図1：まちづくり方針案

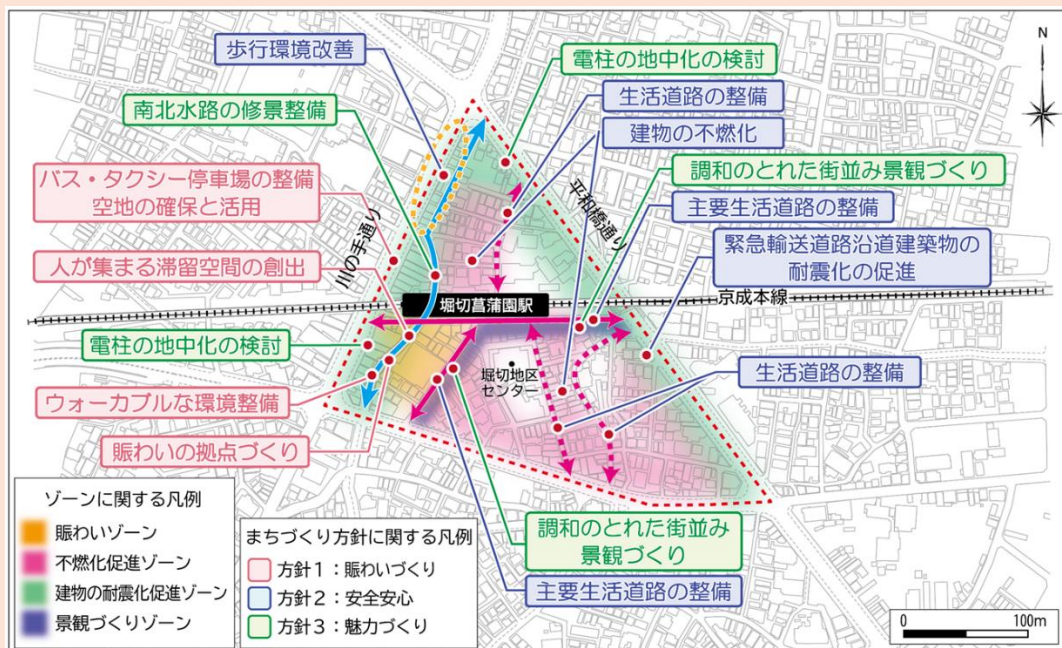
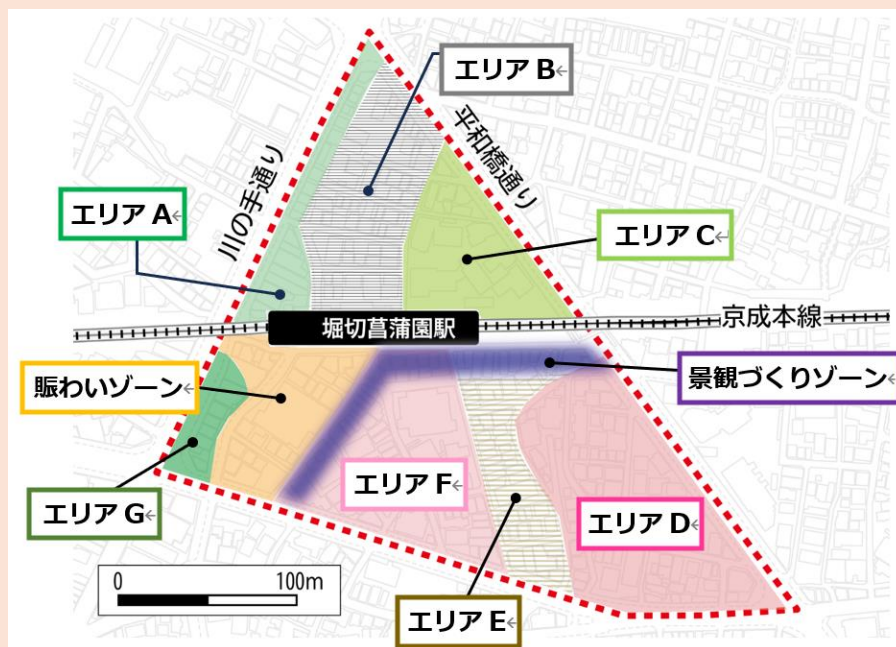


図2：地域のエリア区分

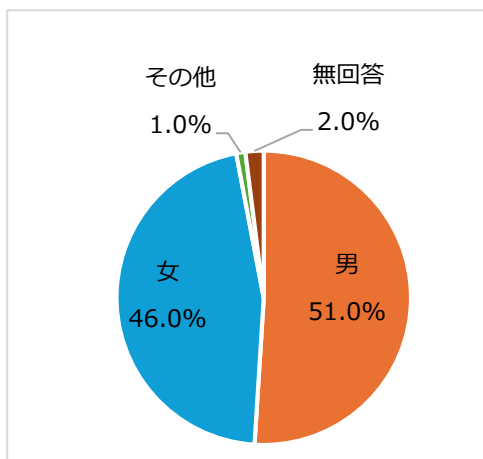


<集計結果>

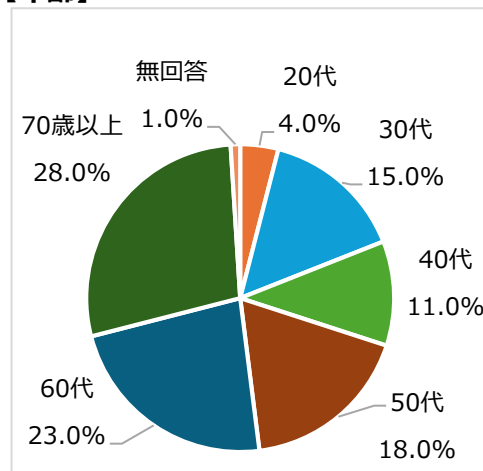
回答者の性別・年齢・不動産の属性について

性別は男性が 51%、女性が 46%、年齢は 60～70 代以上で回答者の 50%以上を占めています。不動産の属性では、自己利用（居住）が回答者の約 60%となっています。

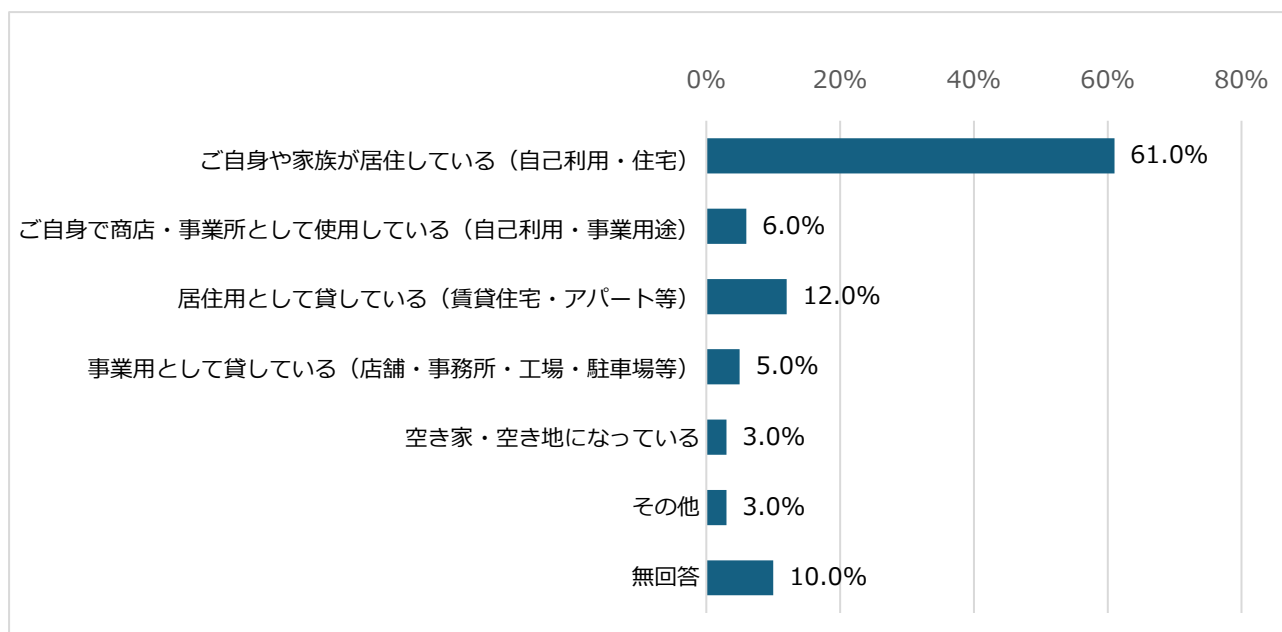
【性別】



【年齢】



【不動産の属性】



※クロス集計に当たっては、不動産の属性のうち、以下の区分をまとめて集計しています。

●9つの取組に関する考え

（問 1-1、問 1-3、問 1-5、問 1-7、問 2-1、問 2-3、問 3-1、問 4-1、問 4-3）

●取組の波及効果（問 5）



●不動産の属性

地区内居住者：自己利用・住宅

地区内事業者：自己利用・事業用途

賃貸（居住・事業用）：居住用として貸している
事業用として貸している

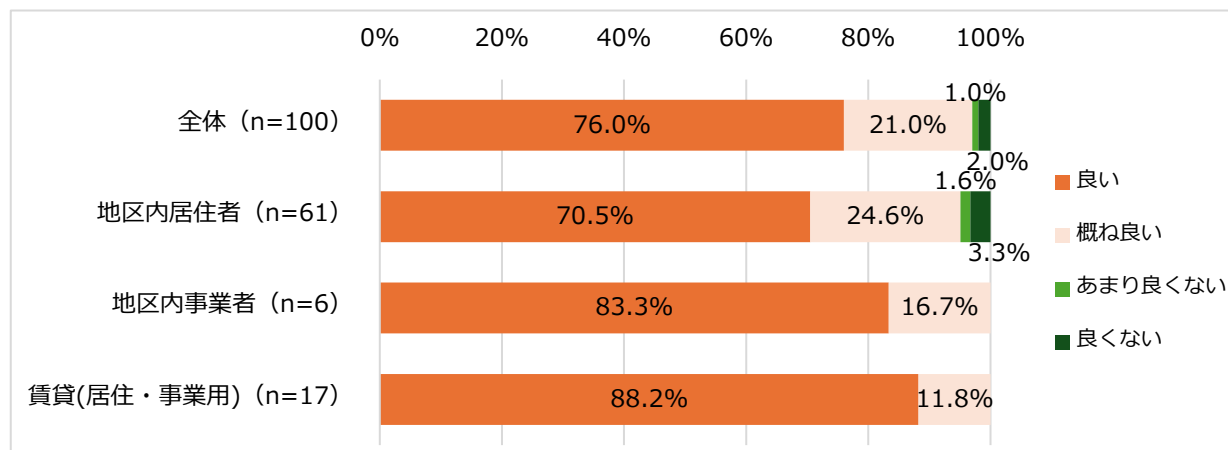
問1 第1回まちづくり検討会での主なご意見のうち、図1の「堀切菖蒲園駅周辺地区全体（以下「地区全体」とする）に関する取組」についての考え

地区全体

① 安全に避難でき、緊急車両が通れる道路幅員（4m以上）を確保

問1-1 上記①の取組に対する考え（1つだけに○）

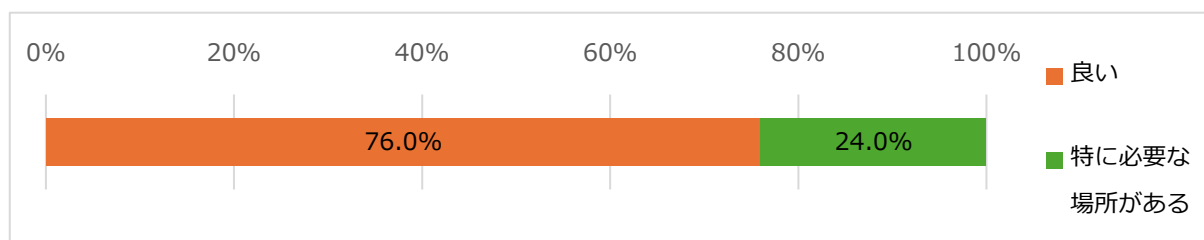
①の取組について、全体では「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が97.0%となっており、属性別では地区内居住者でやや「良い」が少なくなっています。



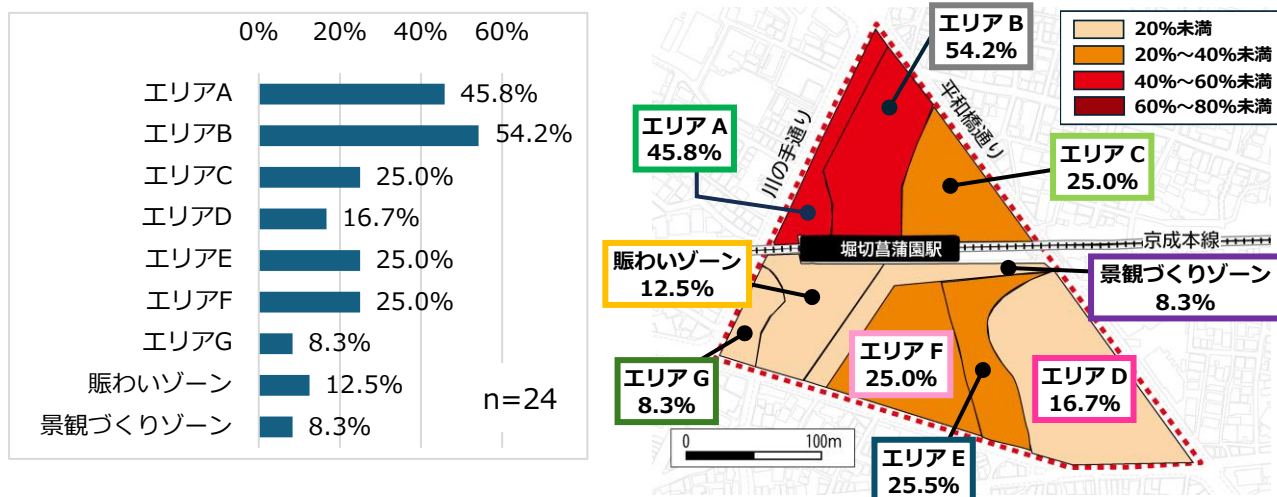
※クロス集計の属性区分については、P3を参照

問1-2 上記①の取組を地区全体で行うことに対する考え（1つだけに○）

①の取組場所について、「良い」が76.0%で、「特に必要な場所がある」は24.0%となっています。



①の特に必要な場所については、駅北側の「エリアA、B」が約50%で高く、駅南側でも住宅地の多い「エリアE、F」は約25%とやや高くなっています。

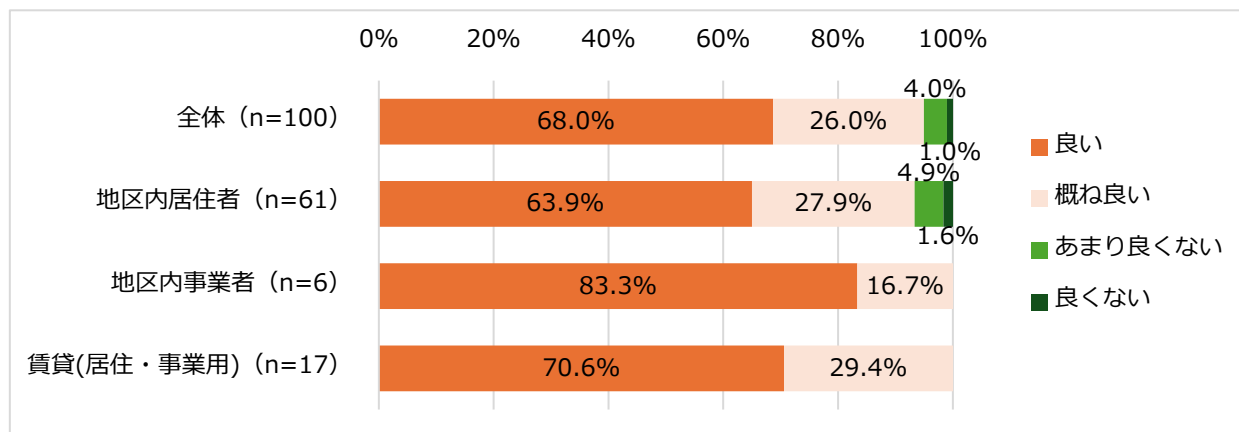


地区全体

② 建替えルールや費用の支援による燃えにくい建物への建替え促進

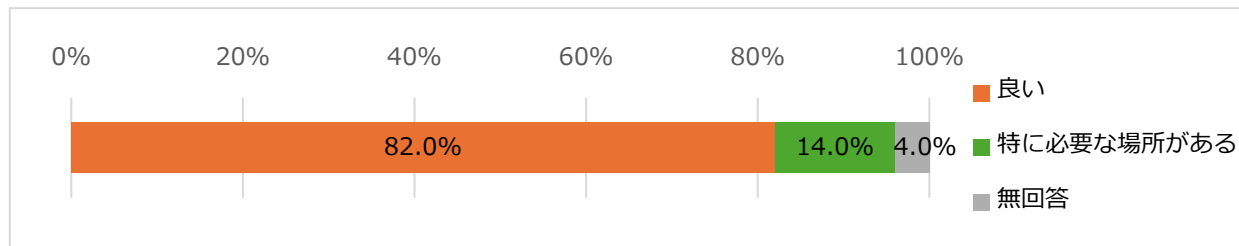
問 1-3 上記②の取組に対する考え（1つだけに○）

②の取組について、全体では「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が94.0%となっており、属性別では地区内居住者でやや「良い」が少なく、回答数は少ない（n=6）ものの地区内事業者で「良い」が多くなっています。

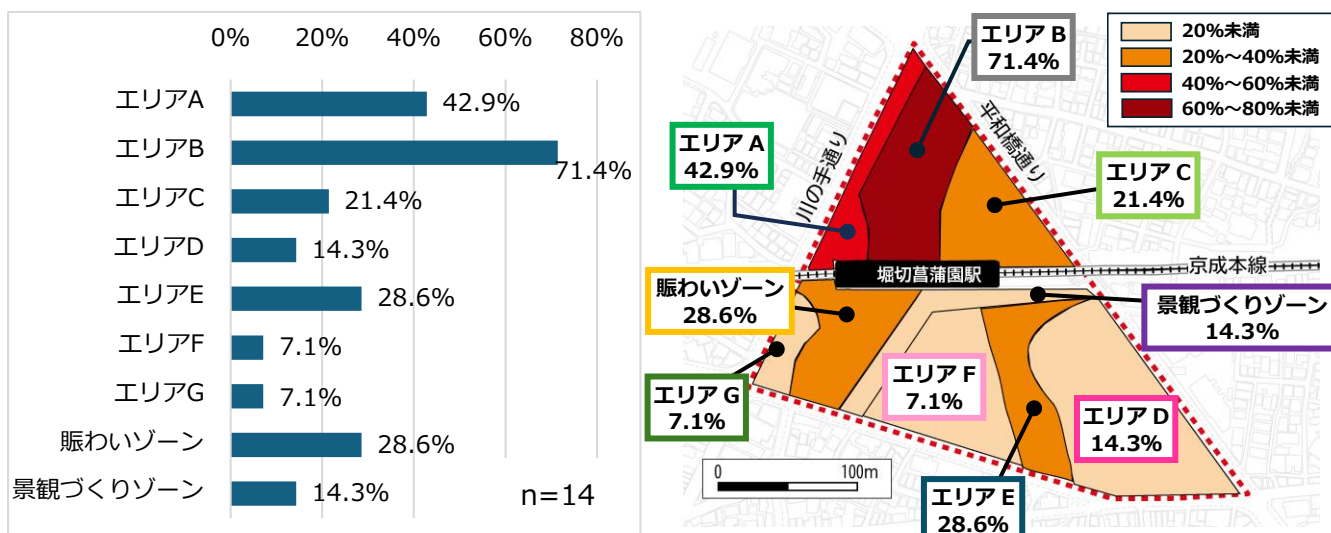


問 1-4 上記②の取組を地区全体で行うことに対する考え（1つだけに○）

②の取組場所について、「良い」が82.0%で、「特に必要な場所がある」は14.0%となっています。



②の特に必要な場所については、「エリア B」が71.4%、「エリア A」が42.9%など駅北側で高く、駅南側では「エリア E、賑わいゾーン」がやや高くなっています。

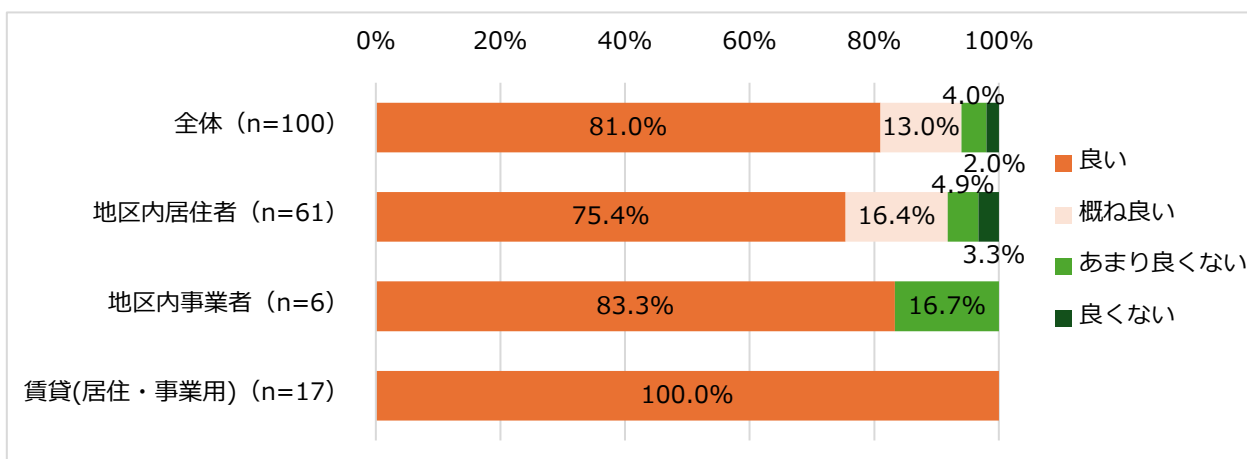


地区全体

③ 駅周辺の吸い殻の掃除など、まちの美化の推進

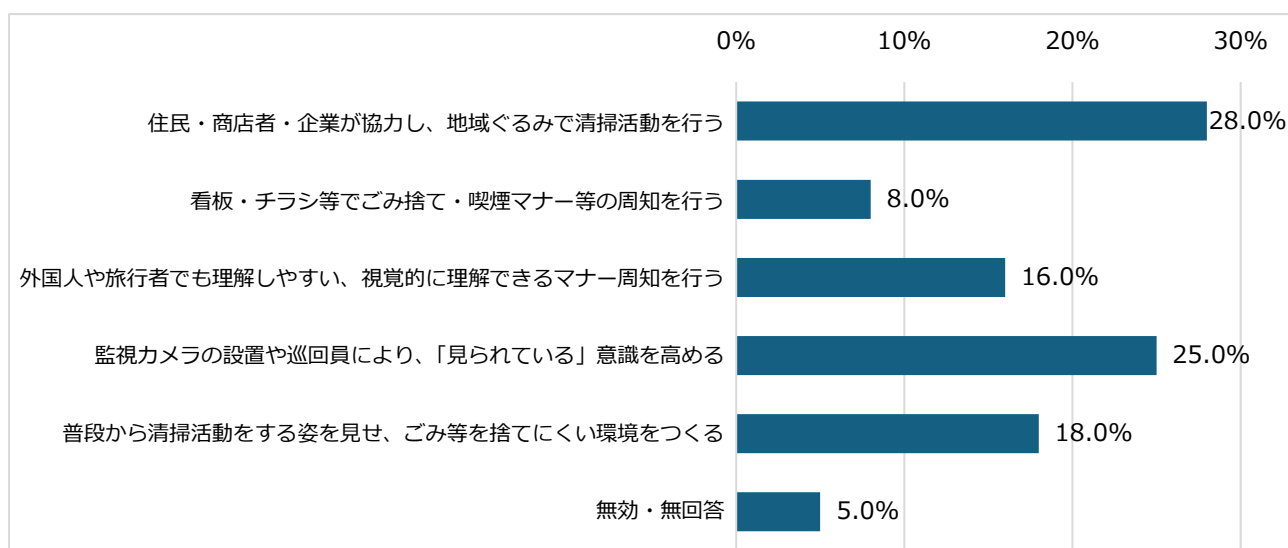
問 1-5 上記③の取組に対する考え（1つだけに○）

③の取組について、全体では「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が94.0%となっており、属性別では地区内居住者で「良い」が少なくなっています。



問 1-6 上記③を進めるために効果的な取組（1つだけに○）

③の効果的な取組については、「住民・商店者・企業が協力し、地域ぐるみで清掃活動を行う」が28.0%で最も多く、次いで「監視カメラの設置や巡回員により、「見られている」意識を高める」が25.0%、「普段から清掃活動をする姿を見せ、ごみ等を捨てにくい環境をつくる」が18.0%となっています。

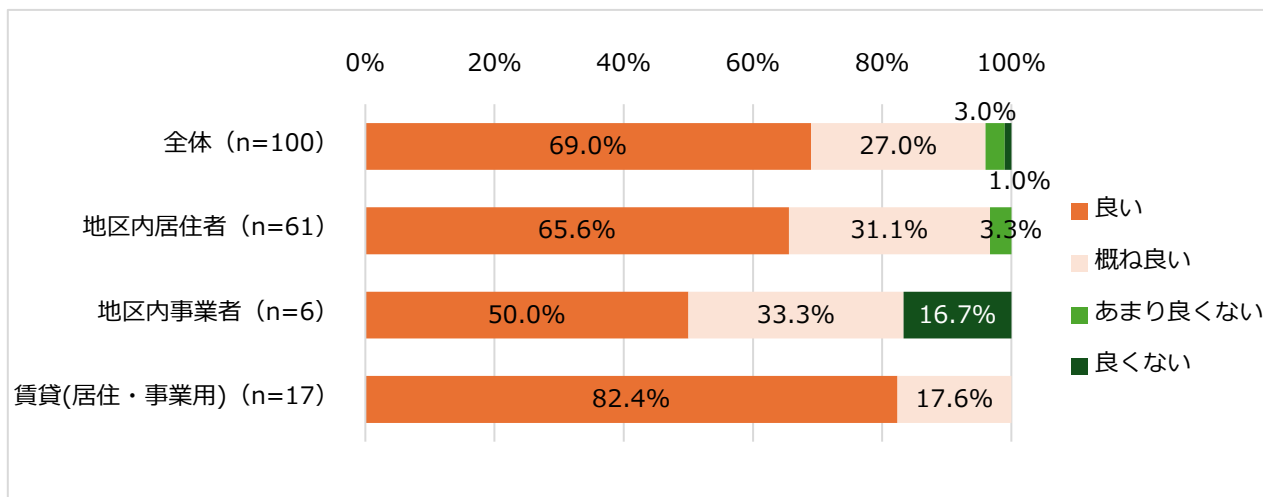


地区全体

④ 商店街や事業者など、多くの方の参画によるまちづくりの検討

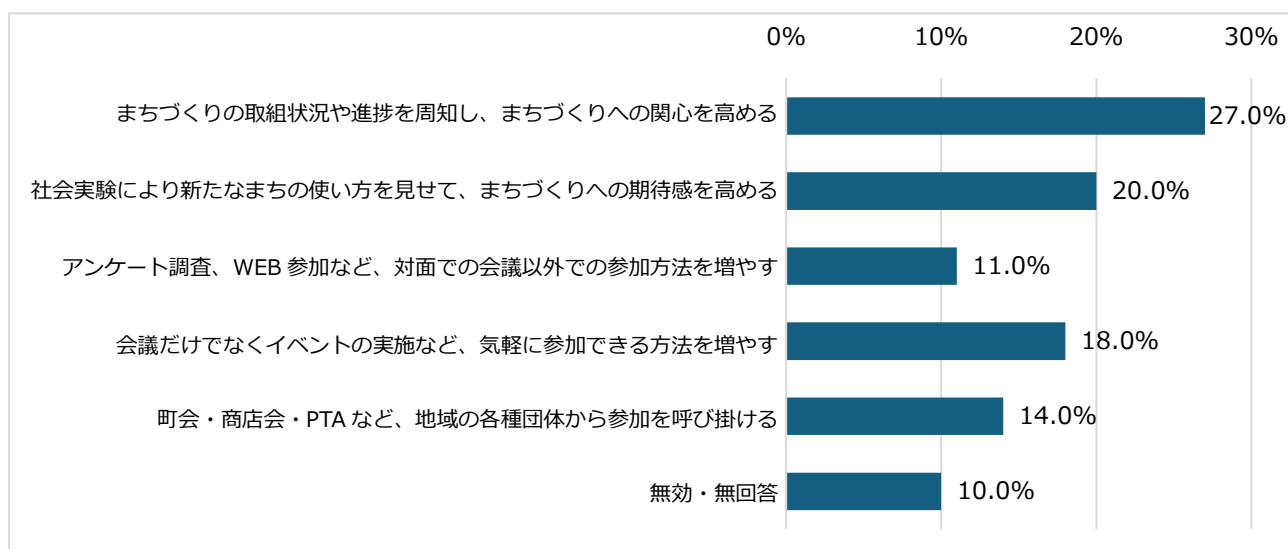
問 1-7 上記④の取組に対する考え（1つだけに○）

④の取組について、全体では「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が96.0%となっており、属性別では、回答数は少ない（n=6）ものの地区内事業者で「良い」が少なくなっています。



問 1-8 上記④を進めるために効果的な取組（1つだけに○）

④の効果的な取組については、「まちづくりの取組状況や進捗を周知し、まちづくりへの関心を高める」が最も多く27.0%で、次いで「社会実験により新たなまちの使い方を見せて、まちづくりへの期待感を高める」が20.0%、「会議だけでなくイベントの実施など、気軽に参加できる方法を増やす」が18.0%となっています。



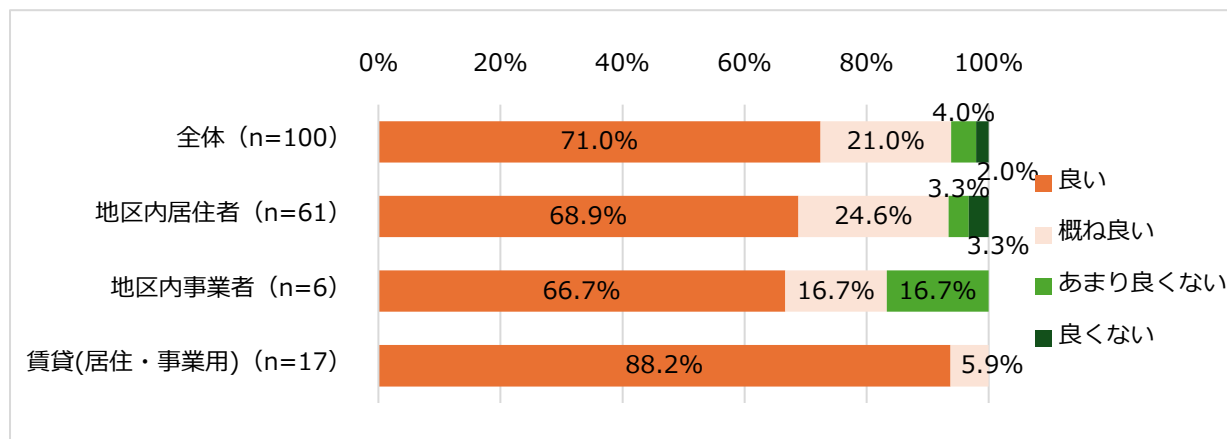
問2 第1回まちづくり検討会での主なご意見のうち、図1の「賑わいゾーンに関する取組」についての考え

賑わいゾーン

⑤ 歩行者中心で、人々の憩いの空間がある道路

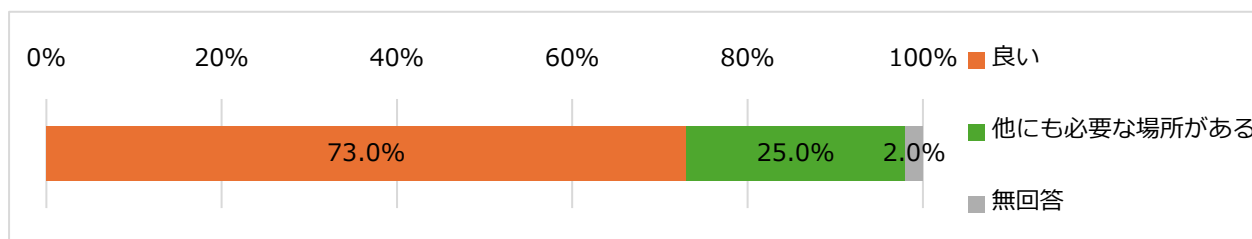
問2-1 上記⑤の取組に対する考え（1つだけに○）

⑤の取組について、全体では「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が92.0%となっており、属性別では地区内居住者・事業者に比べ、賃貸（居住・事業用）の方で「良い」が多くなっています。

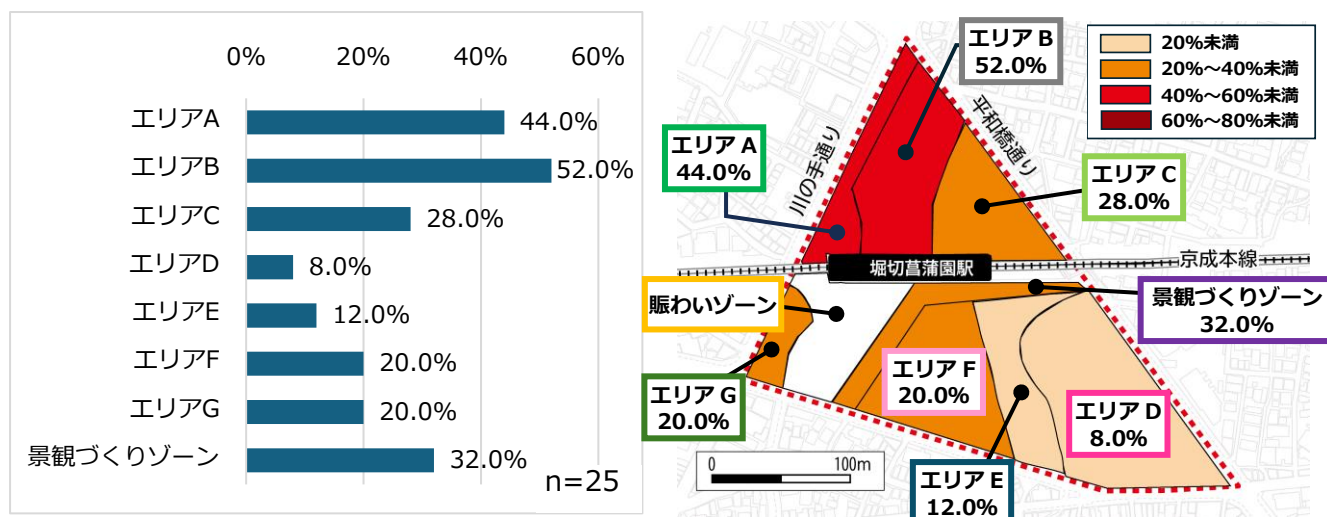


問2-2 上記⑤の取組を賑わいゾーンで行うことに対する考え（1つだけに○）

⑤の取組場所について、「良い」が73.0%で、「他にも必要な場所がある」は25.0%となっています。



⑤の特に必要な場所については、「エリアA、B」をはじめ全体的に駅北側で高く、駅南側では、賑わいゾーンに隣接する「景観づくりゾーン」が32.0%でやや高くなっています。

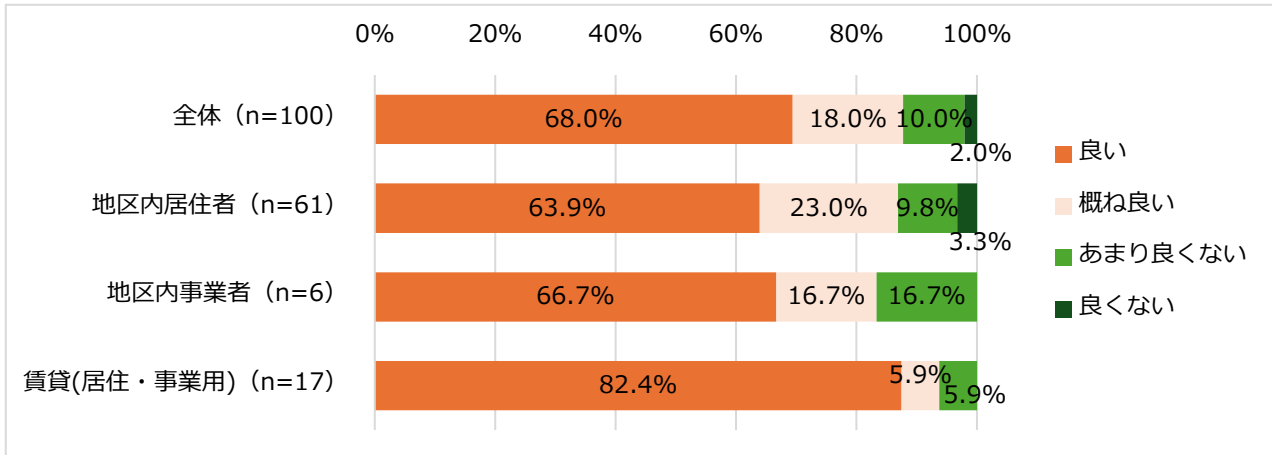


賑わいゾーン

⑥ 駅周辺での地域活動やイベント等に活用できる広場の設置

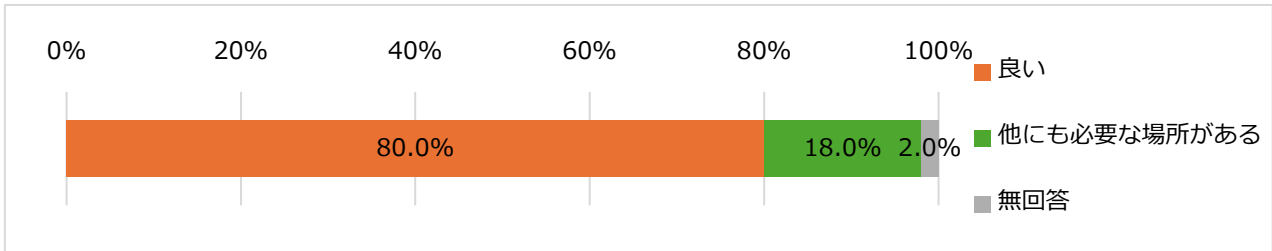
問 2-3 上記⑥の取組に対する考え（1つだけに○）

⑥の取組について、「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が86.0%となっており、属性別では地区内居住者で「良い」が少なく、賃貸（居住・事業用）の方で「良い」が多くなっています。

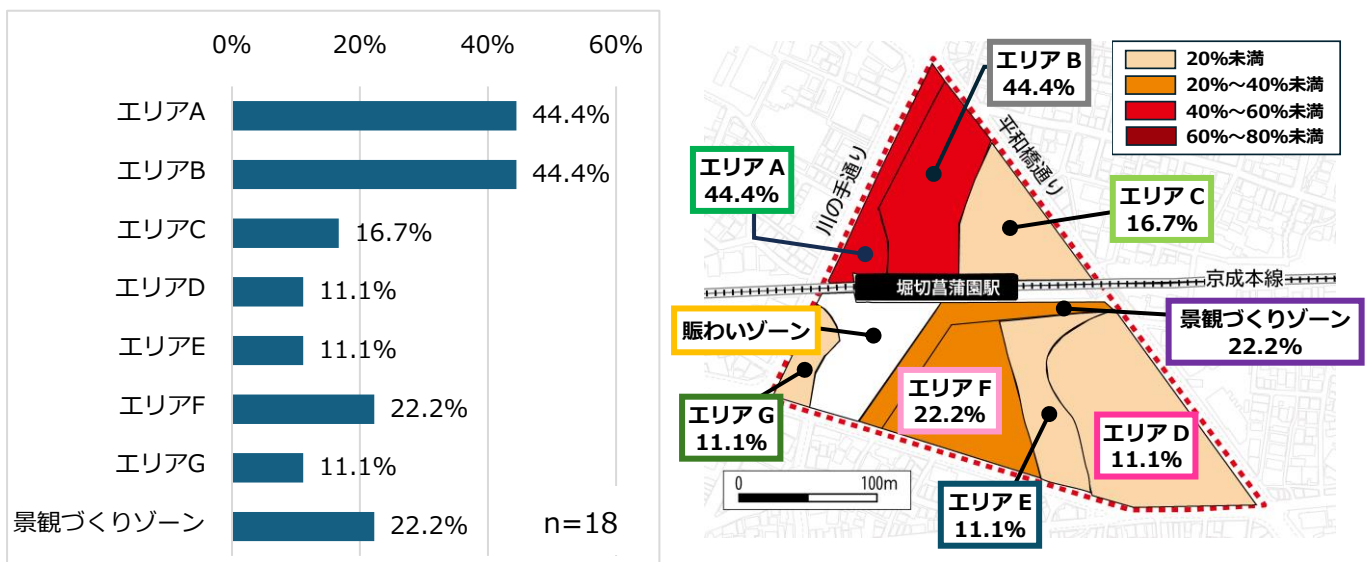


問 2-4 上記⑥の取組を賑わいゾーンで行うことに対する考え（1つだけに○）

⑥の取組場所について、「良い」が80.0%で、「他にも必要な場所がある」は18.0%となっています。



⑥の特に必要な場所については、駅北側の「エリアA、B」が44.4%で高く、駅南側では「エリアF、景観づくりゾーン」が22.2%で比較的高くなっています。



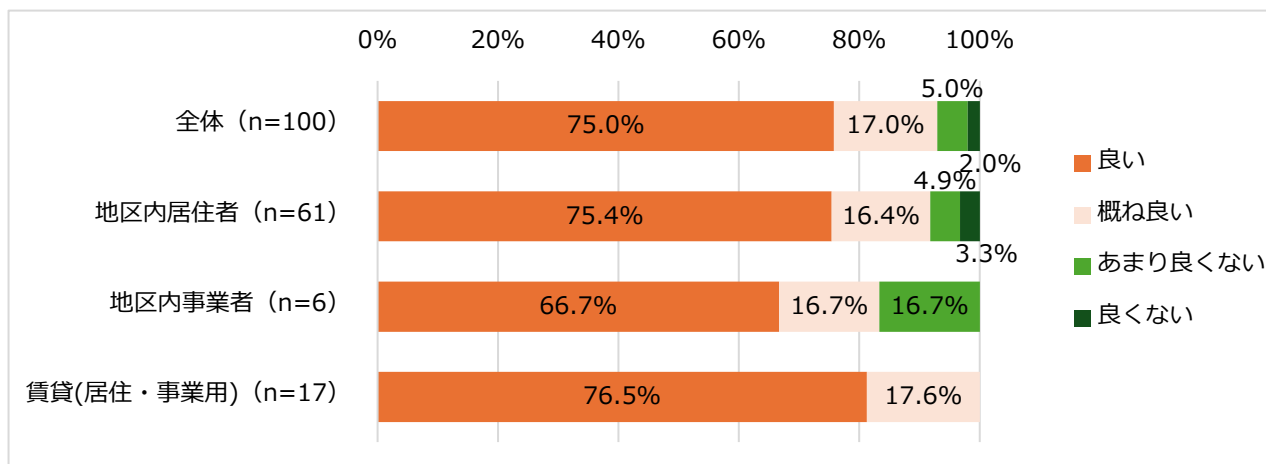
問3 第1回まちづくり検討会での主なご意見のうち、図1の「賑わいゾーンと景観づくりゾーンに関する取組」についての考え

賑わいゾーン・景観づくりゾーン

⑦ 買い物空間の充実

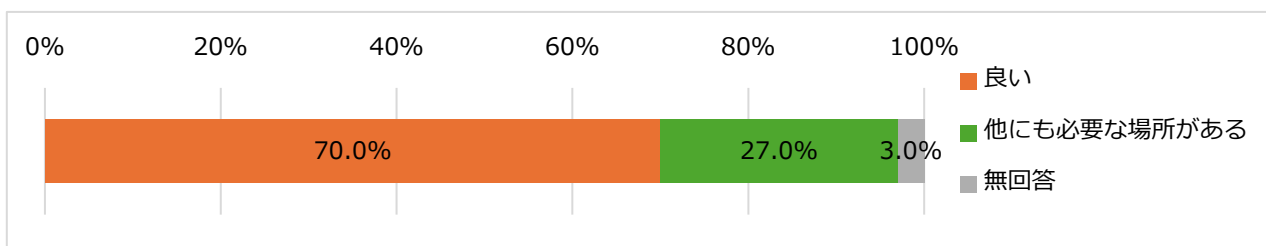
問3-1 上記⑦の取組に対する考え（1つだけに○）

⑦の取組について、全体では「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が92.0%となっており、属性別では、回答数は少ない（n=6）ものの地区内事業者で「良い」が少なくなっています。

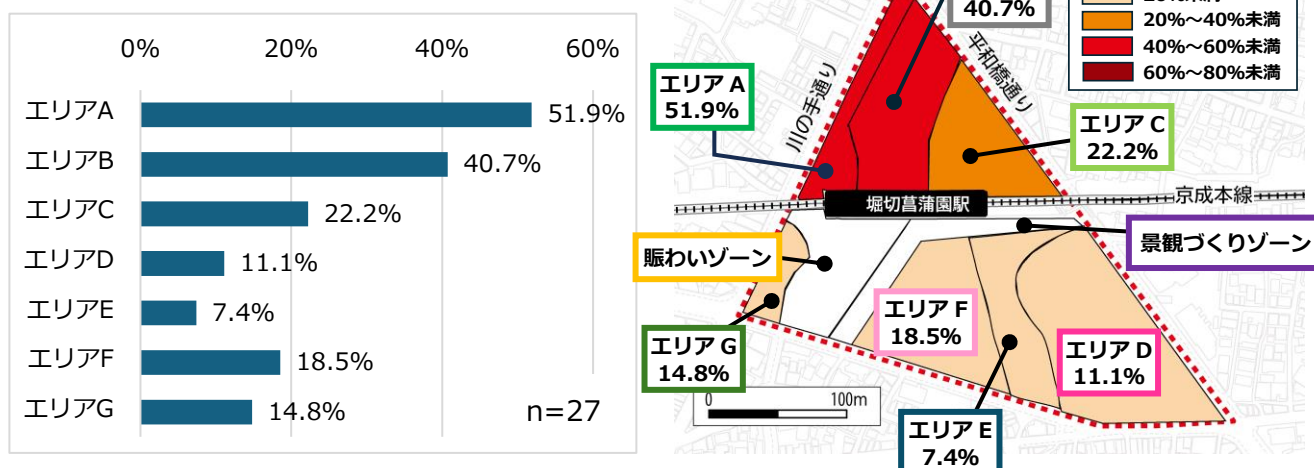


問3-2 上記⑦の取組を賑わいゾーンと景観づくりゾーンで行うことに対する考え（1つだけに○）

⑦の取組場所について、「良い」が70.0%で、「他にも必要な場所がある」は27.0%となっています。



⑦の特に必要な場所については、「エリアA、B」をはじめ、全体的に駅北側で高く、駅南側はいずれも20%未満となっています。



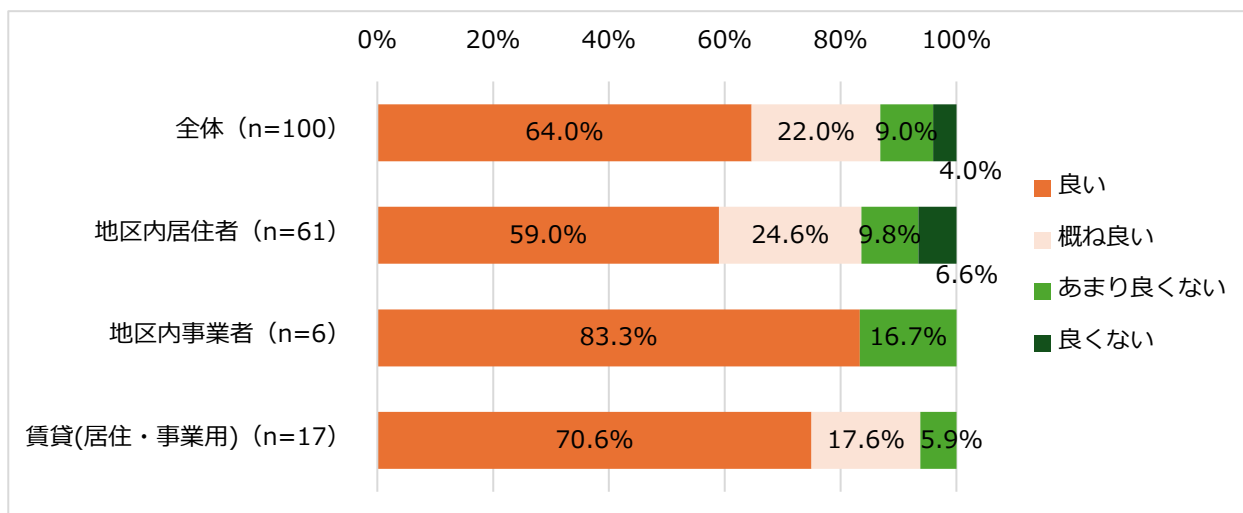
問4 第1回まちづくり検討会での主なご意見のうち、図1の「景観づくりゾーンに関する取組」についての考え

景観づくりゾーン

⑧ 壁面後退による店先空間の創出

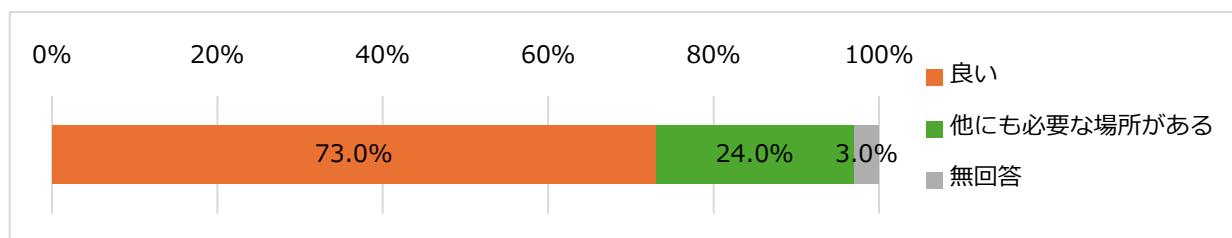
問4-1 上記⑧の取組に対する考え（1つだけに○）

⑧の取組について、「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が86.0%となっており、属性別では地区内居住者でやや「良い」が少なくなっています。

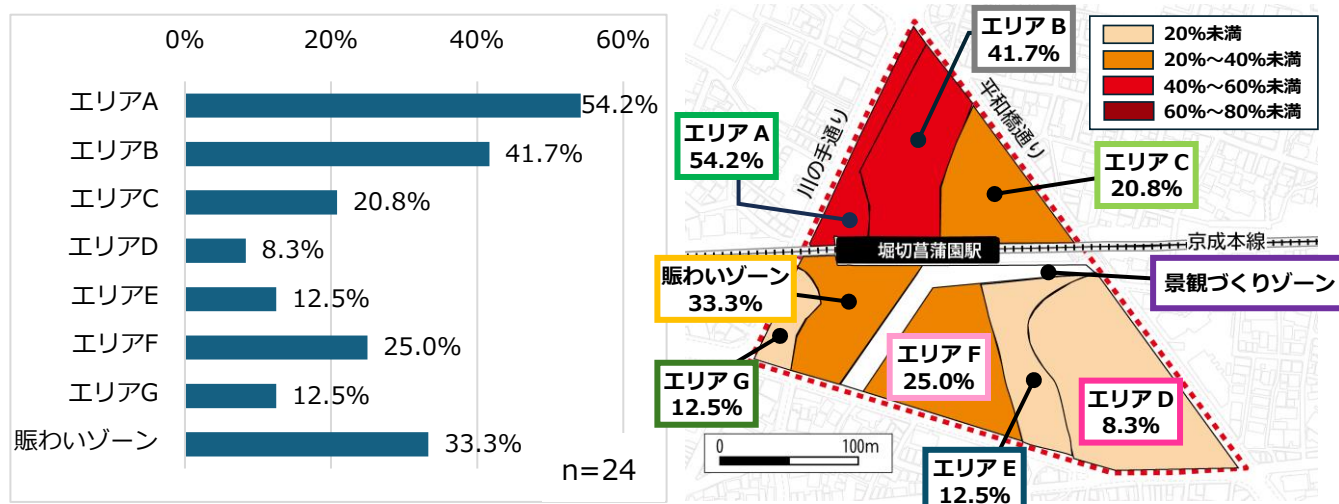


問4-2 上記⑧の取組を景観づくりゾーンで行うことに対する考え。（1つだけに○）

⑧の取組場所について、「良い」が73.0%で、「他にも必要な場所がある」は24.0%となっています。



⑧の特に必要な場所については、「エリアA、B」をはじめ、全体的に駅北側で高く、駅南側では「賑わいゾーン」が33.3%とやや高くなっています。

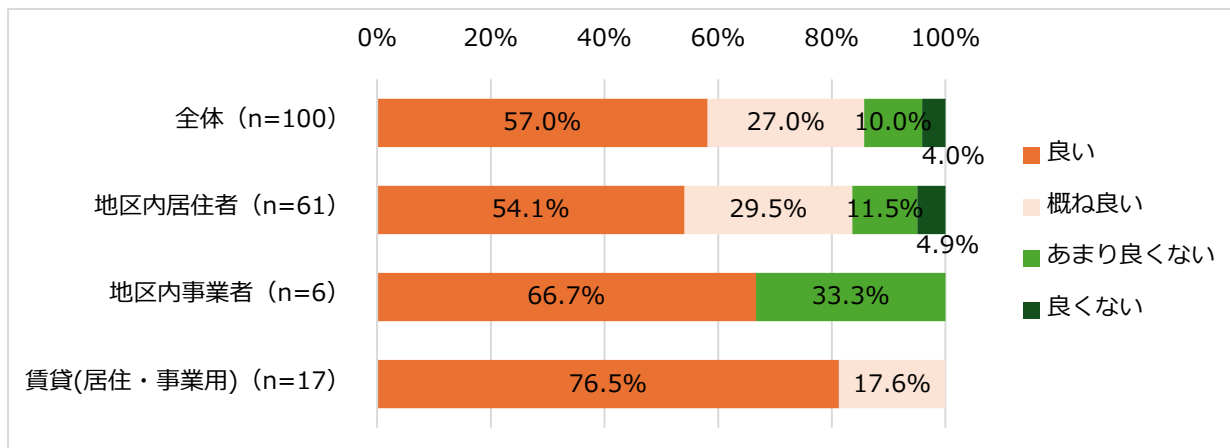


景観づくりゾーン

⑨ 沿道の建物の高さや壁面の位置をそろえ、調和のとれた街並みを形成

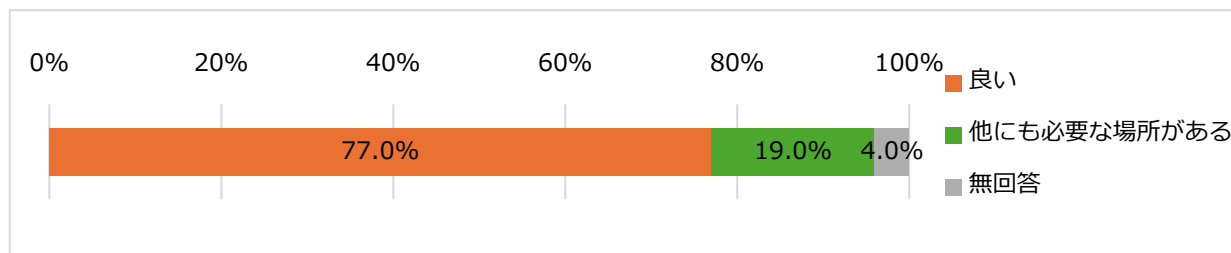
問4-3 上記⑨の取組に対する考え（1つだけに○）

⑨の取組について、「良い」「概ね良い」を合わせて、概ね「良い」が84.0%となっており、属性別では地区内居住者でやや「良い」が少なく、回答数は少ない（n=6）ものの地区内事業者で「あまり良くない」もやや多くなっています。

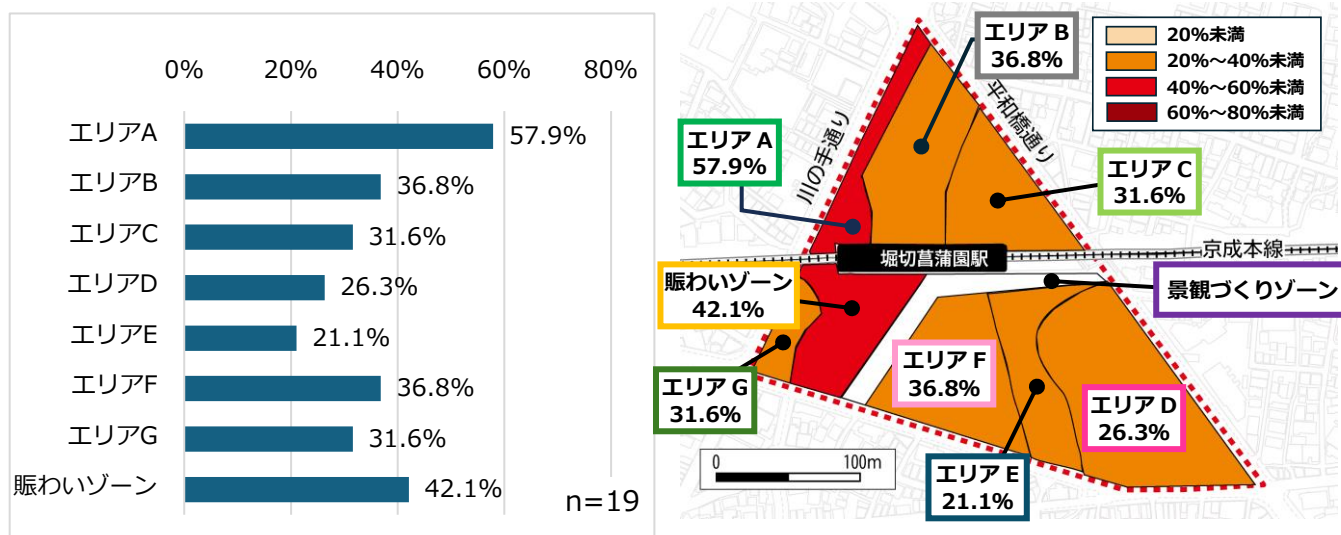


問4-4 上記⑨の取組を景観づくりゾーンで行うことに対する考え（1つだけに○）

⑨の取組場所について、「良い」が77.0%で、「他にも必要な場所がある」は19.0%となっています。

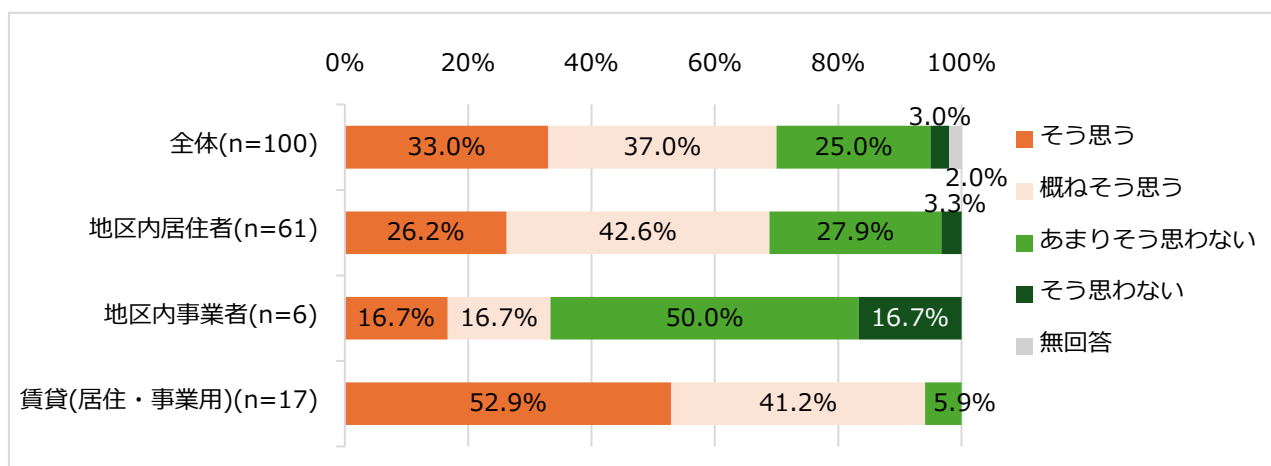


⑨の特に必要な場所については、川の手通りとコミュニティ道路沿いの「エリアA」と「賑わいゾーン」が高く、全体的にも20%以上となっています。



問5 ⑤～⑨の「賑わいゾーン」「景観づくりゾーン」における取組の効果が、地区全体にも広がると思うか（1つだけに○）

⑤～⑨の取組について、「そう思う」「概ねそう思う」を合わせて、概ね「そう思う」が70.0%となっており、属性別では、回答数は少ない（n=6）ものの地区内事業者で「そう思わない」の回答が多くなっています。



各取組に対する記述意見（一部抜粋）

○取組全体に対する意見

- ・街づくりの取組の成否のカギは、その街の住民や事業者が真剣に街を変えたいと思うことにあるので、できるだけ多くの関係者をいかに巻き込むか、自分事にさせるかの取組こそが最優先である。

○⑤の取組「歩行者中心で、人々の憩いの空間がある道路」に対する意見

- ・賑わいゾーンに限定せず、駅と周辺をつなぎ、常々歩行者が多く行き交う道路は全て対象とすべきではないか。
- ・区民がいろいろな手続きや文化活動を行う場所は人が集まりやすい場所なので、憩いの場所があると良い。

○⑦の取組「買い物空間の充実」に対する意見

- ・景観づくりを促進することにより、より消費を促し活性化できると考える。

○⑧の取組「壁面後退による店先空間の創出」に対する意見

- ・各エリア（A、B、C、賑わいゾーン）の駅の周囲にゆとりがあった方が良い。
- ・そもそも後退できるほどの広さがない。
- ・家的には狭くなるけど、道路を使う側としてはありがたい。

○⑨の取組「壁面後退による店先空間の創出」に対する意見

- ・町を明るく、人が来る雰囲気作りを！
- ・駅前や菖蒲園につながるゾーンこそ、景観づくりに力を入れるべき（街並み）